

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社イナリサーチ

コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中川博司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 米田公生

TEL 0265-73-6647

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	768	50.2	6	—	0	—	△3	—
21年3月期第1四半期	511	—	△21	—	△57	—	△47	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△120.26	—
21年3月期第1四半期	△1,952.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	4,941	1,797	34.8	57,453.02
21年3月期	5,294	1,854	33.6	59,332.09

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,721百万円 21年3月期 1,776百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	1,600.00	1,600.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	1,300.00	1,300.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	1,650	0.5	55	△60.4	31	△65.2	2	△93.9	69.19
連結累計期間	3,940	10.5	401	11.8	359	21.7	196	56.1	6,453.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|---------|-------------|---------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 29,966株 | 21年3月期 | 29,950株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | —株 | 21年3月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 29,950株 | 21年3月期第1四半期 | 24,446株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における当社グループの主力事業が大きく関る医薬品業界の環境は、急速に変化しつつあります。世界同時不況と大型製品の特許切れによる影響等で欧米の医薬品市場は伸び悩み、国内でも医療費全体の抑制を目的とした諸施策の浸透が進み市場の成長率は低いものと予想されます。ことに、研究開発では既存の大型製品の特許切れが続くなか、海外の新薬開発企業の買収等新薬開発に向けた大型投資の実施等を進めておりますが、新製品の上市は遅れがちであります。この結果、一部の大手製薬企業では、開発の後期段階にある新薬候補物質への投資が優先される傾向が見られます。しかしながら、製薬企業にとって新薬開発は最重要課題であり、研究開発費予算は今後も増加が予想され、開発のアウトソーシングも同様に継続して行われる見込みであります。

一方、当社においては医薬品業界の慣例により売上高の季節変動があり、例年第1四半期連結会計期間においては終了する試験が少ないことから売上が減少し、固定費はほぼ定額かかることから利益面では赤字となる傾向がありますが、当第1四半期連結会計期間におきましては、試験責任者による試験の進捗管理を一層強化したことに加え大型試験が売上となったことから、前年同期より売上高は大幅に増加し、赤字額は減少いたしました。

なお、一部の大手製薬企業が開発の後期段階にある新薬候補物質への投資を優先させたことから、非臨床試験を主力とする当社の試験受注は伸び悩み前年同期に比べ減少いたしました。

この様な状況の下、当第1四半期連結会計期間における売上高は768,138千円（前年同四半期比50.2%増）、営業利益は6,816千円（前年同四半期は営業損失21,546千円）、経常損失は863千円（前年同四半期は経常損失57,499千円）、四半期純損失は3,602千円（前年同四半期は四半期純損失47,727千円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 医薬品非臨床試験事業

当第1四半期連結会計期間における当事業の売上高は737,952千円（同54.3%増）、営業利益は57,694千円（同224.8%増）となりました。一方、受注については大手製薬企業が世界経済や株式市場の不透明感から慎重な投資判断をおこなった影響をうけ、前年同期より744,907千円減少の478,757千円となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末における受注残高は前年同期より618,346千円減少の2,213,193千円となりました。しかしながら、製薬企業にとって当社への開発のアウトソーシングの必要性が揺らぐものではなく、短期的な事象であると考えております。

② 臨床試験事業

当事業部門におきましては、かねてよりThorough QT(サロ・キューティール)試験の受注へ向けた施設整備を進めた結果、製薬会社の事前調査の受け入れを実施することができました。まだ受注にはいたっておらず、整備関係費用の発生により営業損失16,759千円（前第1四半期連結会計期間は営業損失21,575千円）となりました。

③ その他事業

当事業部門におきましては、環境関係では大型工事がなく保守業務と消耗品の販売が中心であったこと、食品関連試験では小規模の試験が多かったことから、売上高30,185千円（同9.3%減）、営業損失34,118千円（前第1四半期連結会計期間は営業損失17,735千円）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

主力の医薬品非臨床試験事業では、試験責任者による試験の進捗管理を強化したことに加え大型試験が終了したことから、売上高は768,119千円（同50.2%増）、営業利益は11,578千円（同138.1%増）となりました。

② フィリピン

食品ヒト試験等の売上により、売上高10,148千円（同62.9%減）、営業損失6,078千円（前第1四半期連結会計期間は営業損失25,453千円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は4,941,272千円となり、前連結会計年度末と比較して352,910千円減少しました。本減少は主に、前期購入した有形固定資産の支払による現金及び預金の減少であります。

負債の部の残高は3,143,610千円となり、前連結会計年度末に比べ296,566千円減少しました。減少の主な要因は、試験委託費の一部として受け取る前受金が減少したことによるものであります。

純資産の部の残高は、1,797,661千円であり、前連結会計年度末に比べ56,343千円減少しました。本減少は主に、剰余金の処分による利益剰余金の減少であります。

(2) 当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第1四半期連結会計期間と比較して837,005千円減少し、152,589千円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は187,496千円（前年同四半期は30,611千円の獲得）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純利益1,944千円、売上債権の減少額171,629千円、仕入債務の減少額157,864千円、前受金の減少額226,072千円、法人税等の支払額51,771千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は206,591千円（前年同四半期は296,883千円）となりました。主な内訳は前期購入した有形固定資産の支払額205,248千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は240,839千円（前年同四半期は1,000,898千円）となりました。主な内訳は短期借入金の純増加額340,000千円、長期借入金の返済による支出57,400千円、配当金の支払額35,109千円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社の主要事業である医薬品非臨床試験事業は下表のとおり売上の季節変動があります。3月決算が大多数を占める国内製薬企業の予算執行及び次年度予算計上等の都合上、第4四半期に支払いを終えるべく試験計画を組む場合が多く、特に第4四半期に売上が集中する傾向にあります。同様の理由により、上期中に支払いを終えるべく試験計画を組む顧客も多く、第2四半期にも小さな売上のピークを迎える傾向があります。一方で第1四半期及び第3四半期については終了する試験数が比較的少なく、例年売上が落ち込む傾向にあります。

決算年月	四半期	第1四半期売上高 (千円)	第2四半期売上高 (千円)	第3四半期売上高 (千円)	第4四半期売上高 (千円)
平成20年3月期(第34期)		472,604	718,064	641,935	1,197,868
(年間売上に占める比率:%)		(15.6)	(23.7)	(21.2)	(39.5)
平成21年3月期(第35期)		478,269	999,751	698,725	991,151
(年間売上に占める比率:%)		(15.1)	(31.6)	(22.1)	(31.3)

(注) 医薬品非臨床試験事業の売上高に関する事項は、9ページ「5. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報」をご参照願います。

平成22年3月期の業績予想は上記季節変動を考慮して策定しており、当第1四半期の業績は概ね計画通り推移していることから、平成21年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の修正は行っていません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	190,685	349,264
受取手形及び売掛金	224,230	396,895
商品及び製品	7,911	8,347
仕掛品	1,151,363	1,159,664
原材料及び貯蔵品	299,141	289,682
その他	232,437	268,323
貸倒引当金	△14,414	△18,631
流動資産合計	2,091,355	2,453,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,270,322	3,265,558
減価償却累計額	△1,447,173	△1,406,741
建物及び構築物 (純額)	1,823,148	1,858,817
土地	626,614	627,778
その他	890,237	895,667
減価償却累計額	△590,268	△584,951
その他 (純額)	299,968	310,716
有形固定資産合計	2,749,731	2,797,312
無形固定資産	63,806	9,582
投資その他の資産		
その他	37,278	34,639
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	36,378	33,739
固定資産合計	2,849,917	2,840,634
資産合計	4,941,272	5,294,182
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	202,840	361,437
短期借入金	880,000	540,000
1年内返済予定の長期借入金	210,000	222,100
未払法人税等	4,019	59,326
前受金	932,878	1,160,246
賞与引当金	70,290	135,269
その他	245,865	362,200
流動負債合計	2,545,894	2,840,580

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	383,900	429,200
退職給付引当金	4,655	4,470
役員退職慰労引当金	46,950	46,125
その他	162,210	119,802
固定負債合計	597,716	599,597
負債合計	3,143,610	3,440,177
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,390	683,990
資本剰余金	600,390	599,990
利益剰余金	499,413	550,936
株主資本合計	1,784,193	1,834,916
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△62,556	△57,919
評価・換算差額等合計	△62,556	△57,919
少数株主持分	76,024	77,008
純資産合計	1,797,661	1,854,004
負債純資産合計	4,941,272	5,294,182

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	511,561	768,138
売上原価	307,251	537,922
売上総利益	204,309	230,216
販売費及び一般管理費	225,856	223,400
営業利益又は営業損失(△)	△21,546	6,816
営業外収益		
受取利息	135	61
受取賃貸料	2,172	3,771
補助金収入	—	1,298
その他	1,940	23
営業外収益合計	4,249	5,154
営業外費用		
支払利息	10,754	7,992
株式交付費	3,361	—
株式公開費用	24,944	—
為替差損	—	4,303
その他	1,142	538
営業外費用合計	40,202	12,834
経常損失(△)	△57,499	△863
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	3,190
特別利益合計	—	3,190
特別損失		
固定資産除却損	—	382
特別損失合計	—	382
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△57,499	1,944
法人税、住民税及び事業税	1,936	1,269
法人税等調整額	△12,004	3,751
法人税等合計	△10,068	5,021
少数株主利益	296	525
四半期純損失(△)	△47,727	△3,602

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△57,499	1,944
減価償却費	40,028	67,579
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△4,180
賞与引当金の増減額(△は減少)	△88,412	△64,979
退職給付引当金の増減額(△は減少)	460	273
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	825	825
受取利息	△135	△61
支払利息	10,754	7,992
固定資産除却損	—	382
株式交付費	3,361	—
売上債権の増減額(△は増加)	267,322	171,629
たな卸資産の増減額(△は増加)	△196,002	△3,468
仕入債務の増減額(△は減少)	△32,504	△157,864
前受金の増減額(△は減少)	204,080	△226,072
その他	42,503	79,892
小計	194,781	△126,109
利息及び配当金の受取額	135	61
利息の支払額	△12,410	△9,676
法人税等の支払額	△151,896	△51,771
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,611	△187,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	5,991	4,983
有形固定資産の取得による支出	△303,012	△205,248
無形固定資産の取得による支出	—	△3,861
その他	137	△2,464
投資活動によるキャッシュ・フロー	△296,883	△206,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	140,000	340,000
長期借入金の返済による支出	△75,100	△57,400
リース債務の返済による支出	—	△7,450
株式の発行による収入	957,118	800
配当金の支払額	△21,120	△35,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,000,898	240,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	△775	△348
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	733,850	△153,596
現金及び現金同等物の期首残高	255,744	306,186
現金及び現金同等物の四半期末残高	989,594	152,589

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	医薬品非臨床 試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	478,269	—	33,291	511,561	—	511,561
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	478,269	—	33,291	511,561	—	511,561
営業利益又は 営業損失 (△)	17,765	△21,575	△17,735	△21,546	—	△21,546

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	医薬品非臨床 試験事業 (千円)	臨床試験事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	737,952	—	30,185	768,138	—	768,138
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	737,952	—	30,185	768,138	—	768,138
営業利益又は 営業損失 (△)	57,694	△16,759	△34,118	6,816	—	6,816

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
医薬品非臨床試験事業	医薬品開発のための安全性試験、薬効薬理試験
臨床試験事業	医薬品開発のための臨床試験の受託
その他事業	空調装置、スクラバー (ガス除去装置)、脱臭剤搭載装置の開発・施工・販売等、食品の非臨床試験及びヒト臨床試験の受託

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	511,488	72	511,561	—	511,561
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	27,292	27,292	(27,292)	—
計	511,488	27,364	538,853	(27,292)	511,561
営業利益又は営業損失（△）	4,862	△25,453	△20,590	(955)	△21,546

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	日本 (千円)	フィリピン (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	768,119	18	768,138		768,138
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,130	10,130	(10,130)	—
計	768,119	10,148	778,268	(10,130)	768,138
営業利益又は営業損失（△）	11,578	△6,078	5,499	1,316	6,816

（注）国別に区分しております。

〔海外売上高〕

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）及び前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。